

KVK サーモスタット式洗髪シャワー KF125(Z) (各仕様共通) 施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書を必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

- ここに示した は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です
 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、湯水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、湯水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p> <p>禁止</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをすることがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p>禁止</p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの漏水のため止水栓をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

<p> 止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</p> <p>禁止</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p> めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p> 凍結が予備される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き弁と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	--	--

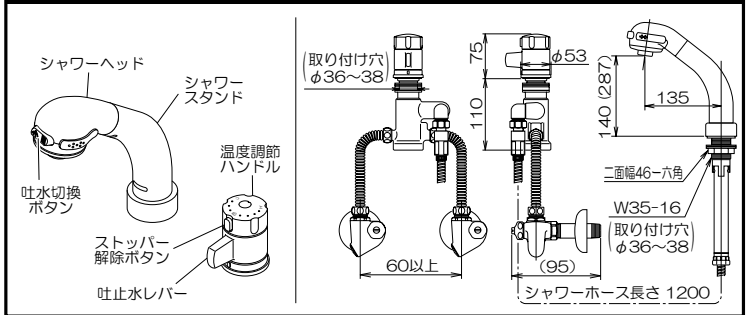
取り付け前に

- ① 使用水圧 (A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開)

【比例制御式】 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ

【給湯・給水圧力】 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 吐水レバーは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10℃以上高くしてください。なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に入るとおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図



分解図

1	キャップ
2	ビス
3	温度調節ハンドル
4	ハンドル金具
5	ビス
6	ストッパー
7	ビス
8	吐止水ハンドル
9	セレクションリング
10	カラー
11	締付ナット
12	シートパッキン
13	輪パッキン
14	スペーサー
15	本体
16	パッキン
17	ビス
18	スリップ板
19	サーモスタットカートリッジ
20	ふた
21	フレキシホース
22	パッキン
23	ジョイント
24	逆止弁
25	ストレーナ (一般地仕様)
26	止水弁 (一般地仕様)
27	止水栓 (一般地仕様)
28	ニップル
29	ワン
30	止水弁 (寒冷地仕様)
31	水抜き栓付止水栓 (寒冷地仕様)
32	ストレーナ (寒冷地仕様)
33	水抜き栓 (寒冷地仕様)
34	押しボタン (寒冷地仕様)
35	パッキン
36	ホースジョイント
37	カプラー
38	シャワーホース
39	水抜きユニット (寒冷地仕様)
40	シートパッキン
41	輪パッキン
42	スリップ板
43	フランジ
44	シャワースタンド
45	ストレーナ
46	シャワーヘッド
47	輪パッキン
48	整流器
49	ストレーナ
50	シャワーフェイス

取り付け手順 1

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

止水栓はニップルを取り付け、ワンをはめ込んでから、配管に取り付けます。(給湯管と給水管の間隔は、60mm以上で取り付けます。)

一般地仕様

寒冷地仕様

① デッキの板厚 t を確認します。

② 下表に従ってスペーサー及びパッキンを本体に取り付けます。

板厚 t (単位:ミリ)	スペーサー 有 無	パッキン 枚 数
6~8	有	4
8~10	有	3
10~12	有	2
12~14	有	1
14~16	無	3
16~18	無	2
18~20	無	1

③ 本体はKVKマークを前向きにして、デッキの下からはめ込み、シートパッキンをはさみ、締付ナットで固定します。

【△注意】 締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと漏水するおそれがあります。

KVKマーク 前向き

取り付け手順2

4 温度調節ハンドルと吐止水レバーの取り付け

① セレージョニングの切り欠きと、ストップの切り欠きが同じ位置が確認します。スれている場合は、セレージョニングを回し、同じ位置になるよう調節してください。

【△注意】切り欠きが同じ位置になったら、温度調節ハンドルを固定するまでセレージョニングを動かさないように注意してください。動かして位置をずらすと、吐水温度と希望温度の誤差が大きくなります。

② カラーを取り付けます。カラー内面の突起部を、ストップとセレージョニングの切り欠きに通してはめ込みます。(グレーのポイントが前面になります)

③ 吐止水レバーを取り付けます。吐止水レバー内面の突起部を、ストップとセレージョニングの切り欠きに通してはめ込みます。(レバーは正面を向きます)

④ 温度調節ハンドルを取り付けます。温度調節ハンドル内部の切り欠きをハンドル金具の突起部(ビス)に合わせてはめ込み、ビスで固定します。

⑤ キャップをはめ込みます。

⑥ はめ込む
④-2 固定

5 本体と止水栓の接続

図1のようにフレキシホースで接続します。

【△注意】
・接続は適切な工具(スパケ等)で締め付けてください。締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。(締め付けトルクの目安=約200N・cm)
・ポップアップフイヤーとフレキシホースが接触しないようにしてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・図2のような無理な配管はしないでください。配管の抜けや亀裂や破損の原因となります。また、寒冷地仕様では水が抜けなくなります。

接続後、ナットが確実に締め付けられているか確認してください。

6 シャワースタンドの取り付け

シャワースタンドをフランジで固定します。

【△注意】
フランジの締め付けは、専用工具G11(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、シャワースタンドが緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

専用工具 G11 (別売)

5 ページ

7 シャワーホースの接続

① カプラーの締め付けを確認します。

【△注意】
・シャワーホース(寒冷地仕様は水抜きユニット)にカプラーが確実に締め付けられているか確認してください。緩んでいる場合は、増し締めしてください。(締め付けトルクの目安=約100N・cm)
・シャワーホースはねじらないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。

寒冷地仕様の場合

水抜きユニットを、パッキンをはさんでシャワーホースに接続します。その際、シャワーホースをプライヤー等で固定して締め付けてください。

【△注意】
・締め付け不足、締め付け過ぎにならないようにしてください。(締め付けトルクの目安=約200N・cm)
・シャワーホースをねじらないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。
・シャワーホースのセレージョニング部以外には工具をかけないでください。シャワーホースが破損するおそれがあります。

② カプラーのキャップをはずし、スライダーを下に下ろしてから、本体のプラグヘカチと音がるまで押し込みます。(スライダーがすでに下に下りている場合もあります) 取り付け後、カプラーを引っ張ってはずれないことを確認します。

【△注意】
カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・スライダーが5mm程度上がっていること

・カプラーを真下に引っ張ってはずれないこと

【△注意】
シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、フレキシホースの後ろを通してください。シャワーホースが引き出しにくくなります。

6 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から漏水がないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ、止水栓のストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミがたまったり、水あか、汚れ等が付着した場合、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず漏水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 湯水両側の止水弁【2カ所】又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② キャップ、ビス、温度調節ハンドル、吐止水レバーを取りはずします。(取り付け手順4の逆の手順ではずしてください)
③ 芯を取りはずします。
④ サーモスタットカートリッジを取りはずします。
⑤ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

【お願い】
取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

【お願い】
組み立て時、本体のビスと、サーモスタットカートリッジの切り欠きを合わせて押し込んでください。

⑤ 清掃
歯ブラシ
など

7 ページ

取り付け後の点検と清掃2

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。

図は一般地仕様です

温度調節ハンドルの設定方法

温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
漏水が止まらない	止水管後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残湯水です。故障ではありません	—	—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまっていますか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか シャワーフェイス・ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする シャワーフェイス・ストレーナに凍りまを解かせる	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「流量の調節方法」
	低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる	止水弁を開ける
温度調節がうまくできない	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・動作を確認する	—
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまっていますか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	取扱説明書6ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
	シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまっていますか	シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	取扱説明書5ページ「シャワーフェイス・ストレーナの清掃方法」
シャワーの水状態が不安定	熱源の温度を下げ(約60℃)、水側止水弁をしぼるとよく、改善される場合があります	—	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【△注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や漏水の原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ